

風早の本だより

北条高等学校図書委員会

《9・10月号》

平成29年10月20日発行



中間考査も終わり、季節はすっかり秋となりました。まさに読書の秋です。

秋の夜長に、お気に入りの一冊をじっくり味わってみませんか。

10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）は読書週間です。

図書委員会の後期目標は、「ルールを守り、みんなが利用しやすい環境を作り、本にふれる機会を増やそう」となりました。図書委員もがんばって活動していますので、是非本を借りにきてください。

先生方のおすすめの本とメッセージ

門田将和先生（教科：理科）

① おすすめの本

書名：「まんがでわかる 7つの習慣」

著者名：フランクリン・コヴィー・ジャパン

スティーブン・R・コヴィー著の「7つの習慣」は、ビジネス書として世界的名著とされていますが、500ページ以上の大ボリュームで、読むのはなかなか困難です。

今回紹介する本は、「7つの習慣」のエッセンスを、物語を中心としたまんがで学ぶことができ、とても分かりやすいです。このような形式の本は、この本以外にも多く存在しているので、近寄りがたい難しい本に近づく、よいきっかけになると思います。ぜひ読んでみてください。視野が広がりますよ♪

② 北条高校生にメッセージ

読書は、視野を広げるための近道であると思います。

私はステージ等でギターを演奏することが多いのですが、演奏には、経験や知識、感情など、自分の多くの要素がにじみ出てきます。いい演奏をするためには、練習以外にも、多くの経験をし、いろいろな場所に旅をするなど、視野を広げていくことも必要ですが、時間は限られています。そこで役に立つのが読書です。読書によって、自分ではない人の感情や、目の前にない場面を体験することができ、視野が広がります。

視野が広がると、今まで見えなかったものが見えてきて、より楽しいことが見つかります。本を多く読んで視野を広げてみましょう♪

渡部英明先生（教科：体育）

① おすすめの本

書名：「十津川警部 シリーズ」

著者名：西村京太郎

十津川警部と亀井刑事のコンビが、様々な事件を解決していく推理小説です。多くのシリーズが出されており、全国の様々な地域が舞台になっています。2時間ドラマ化されているものもあり、手軽に読み進めることができます。様々なトリックを解き明かして、事件の真相に迫っていくところは、つつい引き込まれてしまいます。ちょっとした時間で読め、舞台となる地域に旅行したような気分にもなれるので、推理小説好きな人にはおすすめです。

② 北条高校生にメッセージ

本は人の生き方・考え方に触れることのできるよい機会です。直接出会わなくても、会話できなくても、その人のメッセージを受け取り、自分の人生に反映させることができます。また、小説などは自らの想像力を膨らませることで、テレビドラマや映画と同じように楽しむことができます。

読書の目的は人それぞれ、「学ぶ」もよし「楽しむ」もよし、積極的に読書し、できるだけ多くの本と会いましょう。